

議事概要記録

開催日時	平成28年3月5日(土) 11:00 ~ 13:00	開催場所	済生会和歌山病院7階 会議室
会議種別	平成27年度 第6回理事会	議長	竹中 正人
		書記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、蓬台 克之、丸澤 佳子、瀧口 良重栗林 伴有、久保 光史、神藤 洋次、石井 啓子、田原 靖子、勝山 浩樹、15名		
欠席者 <敬称略>	脇村 小津江、村田 正吾	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 事務局報告 3. 学術部報告 4. 経理部報告 5. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 災害対策委員会 (エ) 精度管理 (オ) データ標準化 (カ) 会誌編集 (キ) ホームページ (ク) 会報 (ケ) 月例行事予定表 6. 連盟 7. その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日臨技検体採取講習会実務委員派遣について 2. 第21回和歌山県病院協会学術大会について 3. 総会について 4. 新年度第1回理事会について 5. 和臨技組織強化セミナーについて 6. 次期役員立候補届について 7. 和歌山県医学検査学会 		
	<p>定刻に、議長・竹中副会長より開会宣言があった。 ひき続き、玉置会長より挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告</p> <p>2月7日に日臨技災害対策検討委員会が日臨技会館で開催された。日臨技災害対策マニュアルがほぼ完成され、理事会承認を待つ段階であると報告があった。和臨技でのマニュアルも日臨技マニュアルを参考に作成し、各都道府県も同様に追随するであろうとのことであった。具体的には各都道府県技師会で災害対策委員会を設立して連絡網を構築し、災害時には各支部が中心となって災害状況を各委員会から情報収集し日臨技へ連絡する。必要に応じた援助やボランティアの派遣等の要請がスムーズに行え</p>		
決議事項 及び 継続事項			

るようなネットワークづくりを目指す」と報告があった。

次期日臨技理事の推薦について、当会から竹中副会長を推薦し、近畿支部幹事会で承認されたと報告があった。

平成 29 年度近畿支部医学検査学会（第 57 回）（京都）について平成 29 年 10 月 28～29 日・京都国際会議場にて開催することが決定されたと報告があった。

平成 28 年度以降の日臨技検体採取講習会の運営について、各府県の持ち回り担当と決定し、和歌山県は 7～9 月頃に開催する講習会を担当することとなった。具体的には大臨技の高田副会長が指揮監督し、和歌山県会員から責任者 1 名と実務委員 6～8 名を選出し補佐する運用になると報告があった。

事務局報告

1 月 21 日にマイナンバー対応について日臨技より通達があり、また災害フォーラム開催の記事が MTJ に掲載されたと報告した。

1 月 23 日に日臨技臨時総会と和臨技学術部会議が行われたと報告した。

1 月 27 日に平成 27 年度和歌山県医療従事者功労者賞謹呈式が県庁正庁で行われたと報告した。

2 月 5 日に個人情報の漏えい等に対する通達の日臨技よりあったと報告した。

2 月 10 日に第 21 回和歌山県病院協会学術大会企画運営委員会に代理出席したと報告した。

2 月 18 日に日臨技精度保証認証施設に県内 2 施設が承認され、県内 5 施設となったと報告した。

2 月 19 日に会誌和臨技第 43 巻が刊行された。

2 月 21 日に平成 28 年度支部学術部門長・各府県学術部門員推薦依頼があった。

2 月 29 日に第 65 回日本医学検査学会一般演題登録延長の通達があり、また平成 27 年度和歌山県臨床検査技師会臨床検査精度管理調査報告書がメール配信されたと報告した。

学術報告

学術部使用機材としてノート PC（パナソニック Let's NOTE）2 台購入した報告があった。

平成 27 年度学術部研究班活動について、専門が 29 回、基礎が 1 回行われたと報告があった。

日臨技推進事業について、平成 27 年度は採用 19 件、不採用 1 件と報告があった（不採用理由：年度末 3 月開催であったため、運営規程から不採用とされた）。

和臨技オリエンテーションについて、一般検査から梅村 健太技師（和歌山県立医科大学付属病院）が、血液検査から楠 智佐代技師（和歌山労災病院）が学術部ミニレクチャーとして行うと報告があった。

第 19 回学術部一泊合同研修会について、6 月 25 日（土）・26 日（日）かんぼの宿紀伊田辺で行い、症例検討は生理機能から浮気 千尋技師（日本赤十字社和歌山医療センター）が、臨床化学からは和田 哲技師（和歌山県立医科大学付属病院）が出題すると報告があった。

経理部報告

特になし

各種委員会報告

公益事業活動

特になし

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

今年の12月に開催するが、その他の進捗については特になしと報告があった。

精度管理委員

平成27年度第2回和臨技精度管理委員会が行われ、今年度事業での問題点や次年度に向けた要望に年間スケジュールの確認・反省点等が話されたと報告があった。

特に、今年度の事業で生じた試料の溶血・凍結等の問題について、今後の対策等を中心に話し合い、専用輸送箱や緩衝剤の使用に冷媒の扱い、汚染防止策について検討したと報告があった。

次年度事業に向けて、精度管理関連資料の配布や結果の回収方法についてはメールでの運用を中心とし、FAX運用は廃止することと報告があった。また、PC環境やWEB環境がない施設について、電子媒体使用の運用も視野に入れ、地区理事のご協力を頂きたいと申し出があった。PC・WEB環境がない10施設について、向こう1か月間に運用手順の確認を含めてヒアリングを行うこととなり、次回理事会で報告することとした。

今後は、和臨技HPを活用した案内告知や年間スケジュールの提示、共通資料やサーベイ参加募集要項も掲載したいと報告があった。また、セキュリティが施された結果閲覧が出来る運用が出来ないかと提案があった。

和歌山県精度管理専門委員（和医大大石千早技師）の活動報告について、大石常務理事より代理報告があった。主に県内の検査センターに対して既知検体を持ち込み、測定調査を行ったうえ解析するとのことであった。

データ標準化

特になし

会誌編集

2月16日に第43巻が発刊されたと報告があった。

ホームページ

特になし

会報

5月の総会までに会報66号が配布できるよう準備中で、投稿は3月中旬までに頂きたいと申し入れがあった。検査室紹介について、訪問先との調整が難しいと報告があった。

月例行事予定表

特になし

連盟報告

宮島会長が来和するにあたり、自民党県連本部に挨拶に行くと報告があった。また、強化セミナーにおいて、技師連盟および宮島よしふみ後援会の説明と入会促進を行い、会場出入り口にて入会受付のブースを設置する旨の申し出があった。

立て看板が設置されたと報告があった。

宮島よしふみ後援会の加入状況報告があった。今後、加入数の進捗を地域ごとに集計したデータをメーリングリストにて会員周知したいと申し入れがあった。

その他

会誌が発刊されたことより、本誌より会長賞の審査に入った旨の報告が学術部長よりあった。

審議事項

検体採取について

7～9月に開催される日臨技検体採取講習会実務委員の派遣について、責任者は木下学術部長、委員を大石常務理事と久保理事を擁立し、残り4名の委員は事務局案内にて会員より募集することとした。

第21回和歌山県病院協会学術大会について

学術大会のテーマは「病院機能の分化・強化・連携」、シンポジウムのテーマは「診療報酬改定と病院機能」と報告した。

大会運営や内容、演題募集要項等については例年通りとし、要望演題について各団体より1名以上のエントリーを擁立することが必須となったと報告した。

シンポジウムについてメディカルスタッフ8団体全てが参加することになったと報告した。シンポの内容として、平成28年度の診療報酬改定を元に各職種に対して一定の評価が考慮されているかなどの職能団体からの視点で報告することとなった。調査方法は病院協会員施設のそれぞれの職種に対してアンケートを実施する方法で行われると報告した。

本会からのシンポジストは木下学術部長とし、アンケート作成は事務局と進めることとなった。木下学術部長より各位からの協力を得たいと申し入れがあった。

総会について

5月28日の開催を確認した。

総会議案書の作成に取り掛かる時期になったと伝え、新年度第1回理事会までにはある程度の草稿を作成する必要があると事務局から申し入れた。3月中に各担当部署に

<p>て議案書案作成を行い、新年度第 1 回理事会にて読み合わせ等の確認行うことを申し入れた。</p> <p>新年度第 1 回理事会について 4 月 2 日に行うことを事務局より提案し承認された。</p> <p>和臨技組織強化セミナーについて 和臨技組織強化セミナーの内容と進行等の確認を行った。</p> <p>次期役員立候補について 次期役員立候補届が締め切られ、立候補者は定数内であったため無投票となり、総会まで立候補名簿を告示すると報告した。 また、平成 28 年度定時総会の審議事項として、名簿を議案書掲載することを確認した。</p> <p>和歌山県医学検査学会について 和歌山県医学検査学会運営企画ガイドラインの一部見直しについて報告があり、理事会承認を得た。 平成 28 年度第 37 回和歌山県医学検査学会の学会長に、日本赤十字社和歌山医療センター 勝山浩樹技師から立候補の表明が有り理事会承認された。</p>					
記録作成	平成 28 年 3 月 9 日	氏名	田中規仁	提出	平成 28 年 3 月 9 日

※諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可